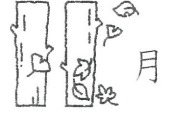




2020年(R2年)



No. 345

# ひとはつゆくり



社会福祉法人 ひとは福祉会  
 〒739-1203  
 広島県安芸高田市向原町長田1857番地  
 TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホム) - シ アト ヲ http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com

いよいよ今年も残すところあと2か月となりました。ひとはを取り囲んでいる山々が紅葉の準備に取り掛かっています。

今年度は寝ても覚めても新型コロナウイルスに対応する一年となりそうです。

この影響により、良くも悪くも新しい生活様式が取り入れられ始め、これまでに社会の常識とされていたものや慣例的に行われていた事柄に対して「なぜ？」の問いから多くの分野で見直しがされています。

ひとはも2か月に一回の「ほっとさん※」をリモートで開催するなど少しずつですが変化しているように思えます。

今年度はひとは創設から35周年を迎えました。同封された「35周年記念号」はグラフィックデザイナーの竹原さんをお交え、ひとはつゆくり編集委員が約半年間の準備期間を費やしました。また、ひとはのパンフレットも全面的に見直すこととなり、専門チームが作成を進めています。記念号でもパンフレット作成でも過去の歴史を振り返りながら、今まで何となく取り組んでいたことに、こんな意味、意図があったのかと多くの「なるほど」を与えてくれます。

もしかしたら、これまでの実践の意図を知らず、伝えられず情性に埋没している取り組みもあるかもしれません。35年を迎え、ひとは創設期からの仲間もいれば、ひとはよりも年下の仲間もいる中で、一人一人が「なぜ？」の問いに向き合い、話し合い、考え続けていくことで「ひとはらしい」歴史を創り続けていくことになるのだと思います。

※ほっとさん... ひとはで働く人達の相談事を受けてくださる方々のこと。  
 (事務局 寺尾 真)



広島国際大学から社会福祉士を目指す学生さんが来られました。

## 小林 未歩さん

あっという間の実習期間の中で嬉しかったことは安作さんに「コンビニに行こう」と誘われたことです。話しかけてもなかなか会話が続きませんでした。が、一日一緒に作業する機会があり、その日を境に仲良くなることができました。はじめはすごく緊張していましたが、スッと溶け込める空気感があり、自然と笑顔になっていました。

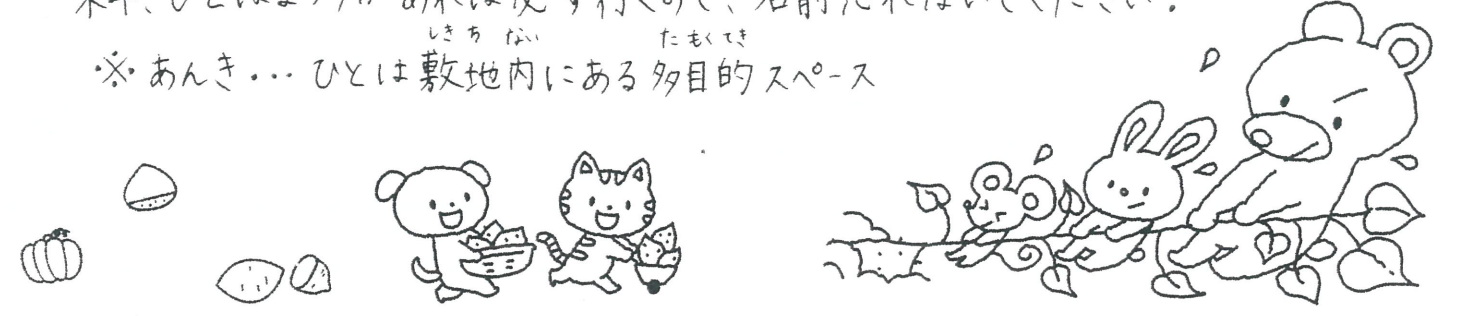
## 平山 里奈さん

高原さんと中田さんの昼食支援をしていた時のことです。今日のメニューの中から、これが食べたいと言えないと思っていたので、作業のように支援していました。するとスタッフから、言えなくても、もしかしたらこうかなと想像することが大切だよと教わり、表情をよく見ると食べたいものを訴えていることがわかりました。ひとはには「また行きたいな」と思えるパワーがあると思います。

## 北川 志絵里さん

大学でひとはスタッフの石川さんの話を聞いて、実習先はひとは一本でした。あんき※に宿泊したので、ホームの食堂で夕ご飯を食べることが何度かあり、きららの人達との時間を共有すると、北川さん、北川さんと名前を呼ばれることが増えました。ホームで夜8時頃まで過ごしていると、「もう帰るん？」と声をかけられ、楽しい時を過ごしました。来年、ひとはまつりがあれば必ず行くので、名前を忘れないでください！

※あんき... ひとは敷地内にある多目的スペース





# 「ひとはの仲間に出会う」

6か月前、誰? どういう名前? から始まり、手を握り返す力強さ、じつと顔を見る仕草、声をかけてくれるきらら達の中で、仕事を覚えるのに夢中で余裕すらなかった。やっときららの名前を覚え、好きなもの、苦手なもの少し分かるようになってきた。何か月か過ぎ、声掛けできるようになり、豆腐が大好きな外輪さんに「豆腐食べましたか」と聞くと「はい」とかわいい声で返事があった。皆さんが賑やかに食べている時間が好き。たくさん食べて力強い手で握り返し、おどっている姿が私はうれしく、頑張ろうと背中を押される。

(食事部 船田 いずみ)

は

# 「君の名は」

「名前しよー」沖本さんが職員に促します。「名前」とは、夕方、みんながホームにいるか一人ひとり確認することです。彼の日課になっています。ただ、沖本さんは名前を覚えることが苦手な方で、適当に答えることもしばしば…。数年前までだれかを呼ぶ際にはほとんどが「おにいちゃん」「おねえさん」でしたが、今では時々間違えることはあれどしっかりと名前を呼んでくれます。名前を呼んでもらえることのうれしさを感じさせてくれますが、例え異動になってもずっと名前を覚えてもらえる人になりたいなと思いつながら今日も「名前」をします。

(共同ホームひとは 久家 徹也)

の

日

# 「おやつ作りの日」

9月のこの日は「白玉ゴマ餡だんご」を作りました。形は様々にユニークでも、お味は天下一品の出来栄え。Rくんは初めて食べるこの美味しさに「これを選んでくれてありがとー。」と感激の声。

一般的に子どもは自己中心ではありますが、彼の場合は特に自分のタイミングでの行動が見受けられます。今回「美味しかった」で終わらず、選んでくれた人、背景にまで思いを馳せることができたRくんにもまた一つ、大きな成長を感じさせていただけました。

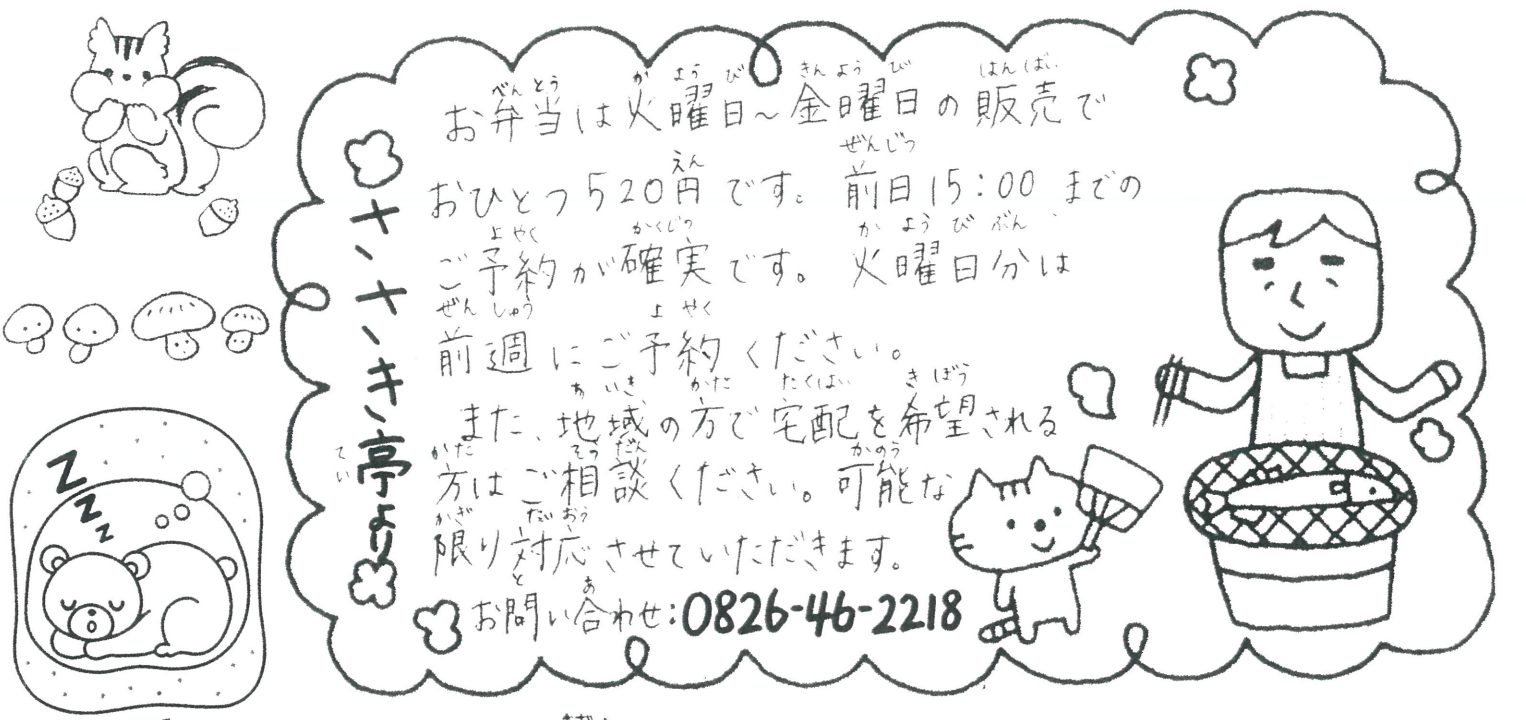
(くらむぼん 繁村 美保子)

マ

# 「ごはん係の相棒」

ささき亭がお弁当中心になってはや半年余。きらはそれぞれ新しい仕事に生き生きと取り組んでいます。美江さんの仕事の一つはごはん係。手早くグラム数を量り次々と茶碗に盛り、私と共に弁当箱にふんわり入れていきます。場所が私と重ならないように気を配り、数の多い時は「大丈夫? ゆっくりね。水分とってね。」と声をかけてくれます。以前は頑張りすぎて仕事が続けられない日もありましたが、今は疲れたら休憩して元気が出たら仕事に戻ります。成長した美江さん。これからもごはん係の相棒として、ゆっくりふんわりよろしくね!

(ひとは工房 小路 幸子)



お弁当は火曜日～金曜日の販売で  
おひとつ520円です。前日15:00までの  
ご予約が確定です。火曜日は  
前週にご予約ください。  
また、地域の方で宅配を希望される  
方はご相談ください。可能な  
限り対応させていただきます。  
お問い合わせ: 0826-46-2218

ひとはまつり改め「絆フェス」  
YouTubeの配信期間は11/5(日)～12/5(火)までです。11/5になりましたら、HP内のイベント情報欄にてアクセス方法をお知らせします。Googleなどの検索サイトで「ひとは福祉会」と検索してください。お見逃しなく!

ひとはつうしんの書き手になって10年。手書きの文字というのは、その時の自分の状況をあらわすものでもある。記念号の作成に伴い読み返し作業を行ったが、中には記事の内容よりも文字の方が強く入ってきて、当時の私を丸裸にされているような感覚になるものもあった。ひとはの歴史の半分にも満たないが、確かに私自身の歴史でもある。

(白井 くみこ)